

# ORANGE-pic32prog 組立て説明書

## I. 部品表

No.	名称	個数	場所	説明
001	ORANGE-pic32prog 専用プリント基板	-	-	印刷のある面を上にして各部品を差し込み、下側から半田付けします。部品によっては、紙粘着テープ等で部品を固定しておくともやりやすいです。
002	ファーム書込み済み PIC16F1455	1	UI	IC は直接半田付けしないで、IC ソケットに装着します。
003	IC ソケット 14P	1	UI	IC ソケットを基板の図の位置に差し込みハンダ付けします。IC ソケット自体は極性はありますが、上に IC を載せる時の向きを間違えないための「へこみ」があります。基板上のマークに合わせてください。
004	ZIF ソケット 28P	1	J1	レバーが picosof のロゴ側になるように差し込んでください。保管時や未使用時には、レバーを立てておいてください。
005	C 106	3	C1, C2, C3	基板上の印刷に合わせてください。向きはどちらでもかまいません。
006	LDO 7333-A	1	IC1	3 本足の部品です。基板の印刷に合わせて差し込んでください。
007	R 2.2kΩ	1	R1	抵抗のカラー帯が <b>赤赤黒茶</b> (5 バンド)です。極性はありませんので向きはどちらでもかまいません。
008	R 10kΩ	1	R2	抵抗のカラー帯が <b>茶黒黒赤茶</b> (5 バンド)です。極性はありませんので向きはどちらでもかまいません。
009	3mm LED オレンジ	1	LED1	リード線の長い方を基板の+印がある側に差し込んでください。
010	超小型タクトスイッチ	1	SW1	基板の印刷に合わせて差し込んでください。
011	ピンヘッダー 6P	1	ICSP	基板の印刷に合わせて差し込んでください。
012	基板取付用 USB コネクタ (B メス)	1	X1	基板の印刷に合わせて差し込んでください。
013	金属スペーサーセット B	1	-	以下の内容のスペーサーセットが入っていますので、基板に取り付けると安定します。 M3 5mm 六角真鍮スペーサー(オネジ・メネジ) × 4 M3 六角ナット × 4
014	USB ケーブル A オス-B オス	1	-	PC との接続に使用します。
015	6P コネクタ付きケーブル	1	-	ICSP ケーブルとして使用します。



## 2. 動作確認

PIC16F1455 には Microbridge のファームを書き混んであります。Windows の場合は書込みツールとして pic32prog.exe が利用できます。pic32prog.exe は <https://geoffg.net/microbridge.html> からダウンロードできます。

ZIF ソケットに PIC32MX を挿してレバーを倒して固定します。

PC と付属の USB ケーブルを接続します。

基板上の SW1 を軽く押すと、LED が点灯し書込みモードになります。

コマンドプロンプトから以下のように打ち込むと書込み～ベリファイまで完了します。

```
C:\>pic32prog -d ascii:comX ファイル名
```

X は COM ポート番号、ファイル名には hex ファイルを指定してください。

詳細は上記 URL をご参照ください。

## 3. お問い合わせ

メールでのお問い合わせには対応しておりません。

Facebook のグループでご質問ください。

<https://www.facebook.com/groups/orangepico/>